

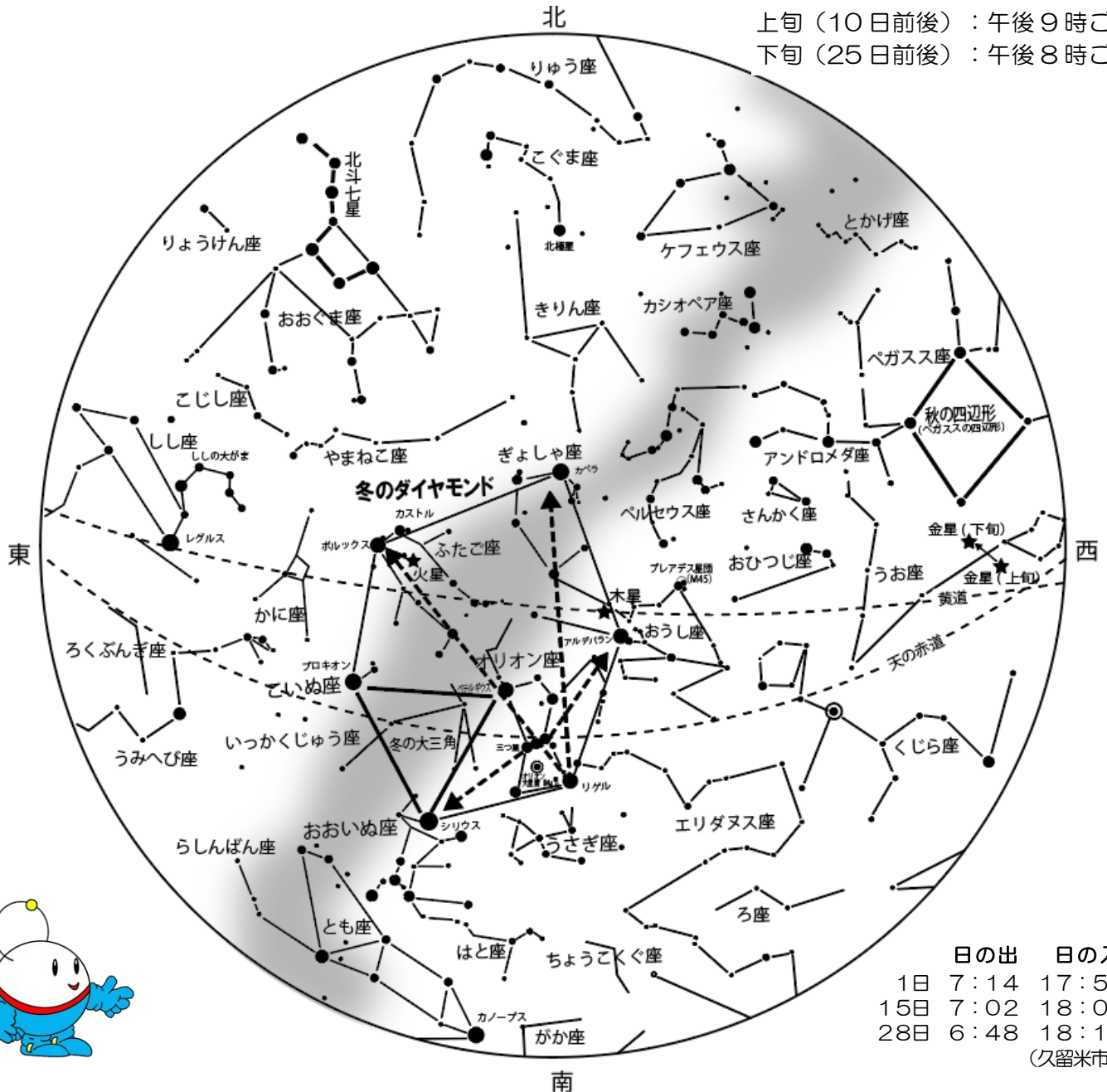
令和7年

2月の星空さんぽ

福岡県青少年科学館
TEL0942(37)5566



上旬（10日前後）：午後9時ごろ
下旬（25日前後）：午後8時ごろ



	日の出	日の入
1日	7:14	17:50
15日	7:02	18:03
28日	6:48	18:14

(久留米市)

立春を過ぎれば、暦の上では春ですが、まだまだコートを手放せない寒さが続いています。皆さんいかがお過ごしでしょうか？寒さに負けず、今月も夜空を見上げて、星空さんぽを楽しんでみませんか？

2月の星座さがしは、等間隔に並んだ3つの星“三つ星”と、それを取り囲む明るい4つの星がつくる砂時計のような星の並びのオリオン座を見つけるところからスタートです。オリオン座には明るい1等星が2つあります。オリオン座の左上で赤っぽく輝く星は1等星のベテルギウス、そして、右下で青白く輝く星は1等星のリゲルです。オリオン座のリゲルと、これからご紹介する5つの星座にある1等星を線でつなぐと『冬のダイヤモンド』を見つけることができます。

まずはオリオン座の“三つ星”を南東（左下）にのばしていくと、1等星のシリウスが見つかります。このシリウスを目印に見つけることができる星座が**おおいぬ座**です。シリウスは星座を形づくる星の中で最も明るい星です。次に、シリウスから北東（左上）に目線移すと1等星の**プロキオン**を見つけることができます。プロキオンを目印に見つけることができる星座が**こいぬ座**です。そして、オリオン座のリゲルからベテルギウスを結んだ線をのばしていくと、1等星の**ポルクス**を見つけることができます。ポルクスを目印に見つけることができる星座が**ふたご座**です。オリオン座のリゲルから右上の星を結んだ線をのばしていくと、ここには黄色っぽく輝く1等星の**カペラ**を見つけることができます。カペラを目印に見つけることができる星座が**ぎょしゃ座**です。最後に、オリオン座の“三つ星”を北西（右上）にのばしていくと、1等星の**アルデバラン**が見つかります。アルデバランを目印に見つけることができる星座が**おうし座**です。オリオン座のリゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルクス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバランをつないだ星の並びが『冬のダイヤモンド』です。

『冬のダイヤモンド』を形づくる1等星はとても明るく、街明かりの中でも見つけることができます。暖かい服装で『冬のダイヤモンド』をぜひ探してみてください。

《2月の天文カレンダー》

日	曜	天 文 現 象	日	曜	天 文 現 象
3	月	立 春	15	土	金星が最大光度（-4.9等）
5	水	☾ 上 弦 （17:02）	21	金	☾ 下 弦 （02:33）
12	水	☉ 満 月 （22:53）	28	金	● 新 月 （09:45）

【惑星の見え方】（☆マークは、今月のおすすめです。）

水星（-1.3等前後）	：やぎ座→みずがめ座	観望に適さない。
☆金星（-4.8等前後）	：うお座	日の入り後、南西から西の空で輝く。
☆火星（-0.7等前後）	：ふたご座	宵の頃、東から南東の高い空で輝く。
☆木星（-2.4等前後）	：おうし座付近	宵の頃、南東から南西の高い空で輝く。
土星（1.1等前後）	：みずがめ座付近	観望に適さない。

注目の天文現象（2月） ～カノープスを観察するチャンス！～

りゅうこつ座のカノープス（-0.7等）は、おおいて座のシリウス（-1.5等）に次いで、夜空で2番目に明るい恒星ですが、実際は、空低いところに見えるので、1等星とは言え、かなり暗く見えます。

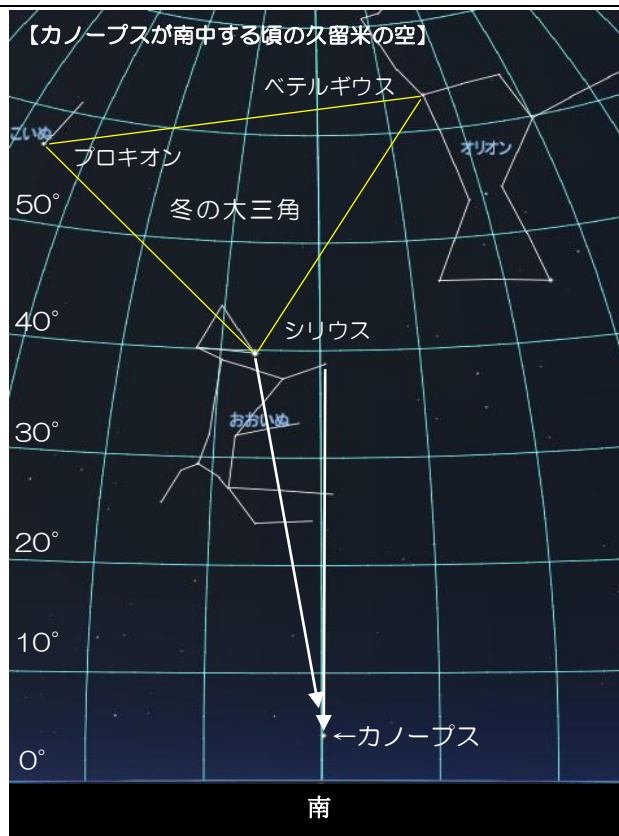
日本の多くの地域でカノープスの南中高度（南の空で最も高くなる時の高度）は大変低く、非常に見つけにくいです。カノープスを見ることができる北限は、平地では、計算上北緯 37.9 度となり、おおむね福島県北端付近で、それより北の地域では地平線より上に昇らず、見ることはできません。南に行くほどカノープスの南中高度は高くなり、見つけやすくなります。

夜更け前にカノープスが南中する2月は、カノープスを見つけるチャンスです。よく晴れた夜、南の空が開けた場所でカノープスを探してみましょう。うまくいけば、南の地平線近くの低い空にカノープスを見つけることができます。（福岡のカノープスの南中時刻は1日22:55、11日21:16、21日20:36です）

カノープスを探すには、図のように、冬の大きな角やおおいて座のシリウスを目印にするとよいでしょう。

カノープスは薄黄色に輝く恒星です。ただ、空の低い位置に見えるときには地球の大気の影響を受け、実際の明るさよりも暗く、赤みがかった色に見えます。

中国では、カノープスを長寿と幸福をつかさどる神様に見立てて「南極老人星」と呼び、この星を見ると寿命が延びる、という言い伝えがあるそうです。皆さんもチャレンジしてみませんか？



【ステラナビゲータ 11/株式会社アストロアーツ】

《天文イベントのご案内》

☆令和6年度 科学講演会☆

もっとみんなに、星を見てホシ～!!～101年目のプラネちゃん～

【講師】龍山 康朗氏（RKB毎日放送 気象予報士）

気象予報士ならではの体験談が盛りだくさん！さまざまな天文現象についてもお話しいたします。龍山さんと一緒に空を見上げよう！

■開催日時：2月24日（月・振）14:00～15:30

■参加対象：小学生以上（※ただし小学生は保護者同伴）■定員：230名 ■参加費：無料

■予約方法：1月24日（金）9:30からオンラインにて先着順に受付。



○オンラインでの予約受付について

- ・ご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら来館またはお電話にてお問合せ下さい。（☎0942-37-5566）

